

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

出光クレジット株式会社（証券コード：ー）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) 出光クレジットは、出光興産グループのクレジットカード会社で、出光興産およびクレディセゾンの持分法適用関連会社。クレジットカード事業、プリペイドカード事業のほか、不動産担保ローンやリースなどを扱うファイナンス事業を展開している。出光クレジットの長期発行体格付は、出光興産の関与度およびグループにおける経営的重要度を踏まえ、出光興産のグループ信用力「A+」相当と同等としている。
- (2) 出光興産の関与度は強い。出光興産は議決権の 50%を保有し、代表取締役社長を含む複数の取締役を派遣しているなど、経営管理の一体性が高い。出光興産グループにおける経営的重要度も高い。出光クレジットは、サービスステーション（SS）における決済機能の提供やガソリン値引きの施策を通じて販売促進を担っており、グループ内で重要な役割を果たしている。
- (3) クレジットカード事業において、出光興産の SS におけるガソリン代の値引きを強みとして一定の市場地位・競争力を有する。クレジットカード会員数は約 440 万人と業界中位クラスの会員基盤を有する。利用実態を踏まえた会員基盤の適正化などにより会員数はおおむね横ばいで推移しているものの、稼働会員数は増加基調にある。主力の apollo station card は給油目的で日常的に利用されることから、カードショッピング稼働率は 80%超と高い水準にある。カードショッピング取扱高はガソリン価格の変動による影響を受けやすいものの、安定した会員基盤に支えられ一定の水準を維持している。ファイナンス残高については、不動産担保ローンを中心に拡大しており、営業体制や業務運営体制の強化が寄与している。
- (4) 収益力は改善の余地がある。ファイナンス収益の拡大などを背景に増収基調にある一方、販促費やガソリン代値引きにかかる費用負担が相応に大きく、利益水準は低位にとどまる。ROA や経費率でみた収益性は低く、基礎的な利益で一定の貸倒関連費用・金融費用を吸収する余裕度も十分とはいえない。費用を適切に抑制することで収益性の改善を図る方針であり、JCR はその進捗をフォローしていく。
- (5) 資産の質は良好である。与信運営は保守的であり、信用リスクは抑制されている。営業資産は小口分散の効いたクレジットカード債権が中心であるほか、不動産担保ローンはセゾンファンデックス（クレディセゾンの連結子会社）の保証が付されている。延滞債権比率や貸倒償却率は問題ない水準で推移している。利息返還金にかかるリスクは限定的であり、引当金は十分に積まれている。
- (6) 資本充実度は良好である。JCR 調整後の自己資本比率は、不動産担保ローンを中心とした資産の拡大に伴い低下傾向にあるものの、比較的良好な水準を維持している。抱えるリスクは小さく、リスク対比の資本の余裕度も十分である。流動性への懸念は小さい。金融機関とは安定的な取引関係にあるほか、CP 発行や債権流動化など複数の調達手段を確保している。必要に応じて両株主による支援も期待できる。

（担当）坂井 英和・山本 恭兵

■格付対象

発行体：出光クレジット株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	800 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026 年 9 月 2 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「クレジットカード・信販」（2022 年 6 月 21 日）、「企業グループの傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 出光クレジット株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル